

# 十三小だより

## 2学期のまとめをしっかりと！

11月25日(土)の学習発表会には、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは練習の成果を発揮し、元気いっぱい演技や発表をしていました。

さて、早いもので2学期のまとめをする時期になりました。学習のまとめをしっかりとするとともに、学校生活をふり振り返り、達成できたことやできなかったことを見つめ、自身の課題や目標を持って新しい年を迎えてほしいと願っています。

### 十三 五か条の心得

12月は「友達と仲良くしよう」を中心に取り組んでいきます。

- 一. あいさつ・返事をしっかりとしよう
- 一. しっかり勉強しよう
- 一. 友達と仲良くしよう
- 一. きまりを守ろう
- 一. 健康に過ごそう

### 今月の主な予定

月 日	曜	行 事	備 考
12月 1日	金	創立記念日	創立91周年を迎えます。(お休みではありません。)
		暖房開始	寒い日には暖房(エアコン)をつけます。
		十三中学校見学会	6年生が十三中学校の見学に行きます。
		関西電力出前授業	5年生が電気についての学習をします。
4～8日		親切・思いやり週間	誰に対しても思いやりの気持ちを持ち、親切にすることに取り組みます。
5日	火	健康生活指導日	爪やハンカチ、ティッシュなどのチェックをします。
6日	水	夢ちゃん花づくり	3年生児童が地域の方とともにパンジーの苗を植えます。
		代表委員会	5時間目終了後に行います。
7日	木	委員会活動	4～6年生が、各委員会に分かれて行います。
		スクールカウンセラー来校	相談したいことがありましたら、教頭までご連絡願います。
8日	金	2年歯みがき指導 4年フッ化物塗布	2年生は2時間目、4年生は3時間目に行います。
		6年社会見学	ピース大阪と歴史博物館に見学に行きます。
11～15日		きら・ピカウイーク	特に歯みがきをていねいに行います。
13日	水	地区子ども会	冬休みの生活について話し合い、集団下校します。
14日	木	クラブ活動	2学期最終のクラブ活動です。
		ステップアップ教室終了	2学期の最終日です。1/11より再開します。
15日	金	4年大阪体験学習	科学館と阿倍野防災センターへ行きます。
19～21日		2学期末個人懇談会	それぞれの日時については別途お知らせしています。
22日	金	給食終了	3学期は1/10より給食を開始します。

25 日	月	2 学期終業式	1 1 時 4 0 分～1 2 時ごろ下校します。
1 月 9 日	火	3 学期始業式	5 日 (金) 10:00 に始業式で発表する児童の練習を行います。
27 日	土	防災学習デー	土曜授業で防災の学習や地震・津波の避難（引き渡し訓練）を行います。
31 日	水	学習参観	5 時間目（1:45～2:30）に行います。

## がんばった 学習発表会！



1 年「おむすびころりん」



2 年「ありきりかぶくわかま」



3 年「ヒュードロンお化け学校」



4 年「西遊記～幸せの国十三へ～」



5 年「もういちどハッピーバースディ」



6 年「歴史物語～ぞんたとちえこ～」

### 「子育てのヒント」

校長 前田 耕一

先月は、児童虐待防止推進月間ということもあり、新聞や本、会議や研修の場で情報を得ましたので、その一部を紹介します。みなさんご存じのことも多いと思いますが、これを機会に改めて参考にしていただければと思います。

- しつけで体罰を容認する人の割合は、調査の結果6割だそうです。
- 体罰により、「落ち着いて話を聞けない」「約束を守れない」など問題行動のリスクが高まったという研究報告があります。また、厳しい体罰を経験した人の脳は、感情や理性をつかさどる「前頭前野」が委縮していたという研究報告があります。
- 体罰を防ぐためには、怒りの感情をコントロールするアンガーマネジメントが注目されています。
  - ・ ストレスを解消する。（ためない）
  - ・ 感情のコップのサイズを大きくする。（許容範囲を広げる）
  - ・ 怒りの感情のピークは長くて6秒。（思考を止める。気をそらせる。細く長く息を吐く。その場から立ち去る等）
- また、指示の仕方を伝わりやすくするためには、
  - ・ テレビを消してから指示する。
  - ・ 視線を合わせて会話する。
  - ・ あいまいな表現をしない。（ちゃんと、しっかり、きちんと等、具体的にどうするのかを伝えるようにする）
- さらに、たたかない、怒鳴らないようにするためには、
  - ・ 肯定的な声かけをする。（うるさい⇒お口を閉じてね。走らないで⇒ゆっくり歩いてね）
  - ・ 困った行動をプラスの見方にする。（わがまま⇒意思表示ができる。ふざける⇒人を楽しませる。気が弱い⇒優しい）
  - ・ 悪い行動を叱るより良い行動をほめよう。（ほめる：正す＝6：1）

などが参考になりそうです。

子どもたちが安心して健やかに成長できますように、怒りをコントロールして、威圧的にならないように気をつけて、子どもの気持ちを認めて、子どもに考えさせ、子どもが自分で動くことができるように、心に少し余裕を持って接したいですね。